

9月11日 教育子ども委員会（青木ともこ委員、さいとう愛子委員）

請願審査

## 保育の充実・改善、学校給食の無償化、図書館縮小の反対など請願15件すべてが引き続き保留に

教育子ども委員会が9月11日に開かれ、保留扱いとなっていた15件の請願審査が行われ、全てが引き続き「保留」の扱いとなりました。日本共産党名古屋市議団は、すべての議案の紹介議員となっており、子育て支援を拡充する立場から請願採択を求めました。

### 認可保育所の増設、保育士の処遇改善を

名古屋市は待機児童数はゼロとしていますが、保育を希望しながら利用できていない、いわゆる「隠れ待機児童」が前年より118人も増えています。その理由について子ども青少年局は、「賃貸型の保育所」を28カ所増やすつもりだったのが、17カ所に留まったことが大きな原因」と答えました。それに対して、さいとう愛子議員は、この問題を解決するためにも保育条件が整備される認可保育所の増設が必要だと述べました。

また、青木ともこ議員は3月に公表された「愛知県保育労働実態調査」なども紹介しながら保育士の過酷な労働状況の実態と改善を求めました。とくに、「臨

時教員」の不足が今年4月よりも増えている問題を取り上げ、処遇の改善を求めました。

### 給食の無償化、図書館縮小に反対

小中学校の給食費の無償化について文科省は2017年度の実施状況を調査し7月27日に発表、76市町村で小中学校ともに無償にしています。また、「一部分のみ無償」など何らかの援助をしている自治体を合わせると全体の約3割の市町村が実施しています。教育委員会は、「完全無償化をしている自治体は人口1万人以下が多い」「政令市ではまだ一部無償を含めて一つもない」と紹介し、現在、「『名古屋市学校給食のあり方懇談会』で検討している」と述べました。

青木議員は、実施する自治体が増えてきているもついで、政令市で一番目を実現するよう求めました。

このほか、さいとう議員は、図書館縮小に反対する立場から請願を採択するように求めました。

教育子ども委員会での請願審査の結果（2018年9月11日）（すべて保留中の請願です）

	請願名（請願者）	結果
子ども青少年局関係	児童発達支援センターの充実を求める件（地域療育センターの早期建設を実現させる会）	保留
	安心して子供を産み育てられるよう保育の公的責任の堅持と保育施策の拡充を求める件（愛知保育団体連絡協議会）	保留
	名東区の公立保育所を廃止・民営化せず、必要な認可保育所の増設を求める件（子どもの未来を守る会@名東）	保留
	子供たちが健やかに育つために、休日保育事業、病児・病後児デイケア事業及び一時保育事業の拡充を求める件（北区保育団体連絡会）	保留
	子供たちが健やかに育つために公的保育制度の堅持を求める件（天白区住民）	保留
	全ての子供たちに豊かな育ちを保障し、名古屋の保育・子育てを豊かにすることを求める件（愛知保育団体連絡協議会）	保留
教育委員会関係	千種図書館の新築等を求める件（千種区図書館を考える会）	保留
	なごやアクティブ・ライブラリー構想に関する件（名古屋市の図書館を考える市民の会）	保留
	名古屋市図書館の縮小及び民間活力の導入をやめることを求める件（千種区・名東区・守山区・東区の図書館を考える市民の会）	保留
	名古屋市の小中学校の給食費を無償にすることを求める件（新日本婦人の会愛知県本部、同天白支部、同北支部、同中村支部による同趣旨の請願が4件）	保留
	子供たちが健やかに育つために公的保育制度の堅持を求める件（天白区住民）	保留
	子供と保護者が安心できる少人数学級の実現を求める件（北区住民）	保留